

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立鞍月小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 920-0064
金沢市南新保町リ 27 番地 1

E-mail : kuratuki-e@kanazawa-city.ed.jp
Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/kuratuki-e/

児童生徒数：男子 390 名 女子 391 名 合計 781 名
児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

『梨博士になろう 3年生』

梨は、昔から鞍月地区特有の作物であり、地元の生産者によって栽培されてきた。本校では、3年生が地元の生産者の方から、長年にわたり指導を受け、総合的な学習の時間に、梨栽培を題材に学習を行ってきた。

学習は4月に、生産者の方との出会いからスタートした。人工授粉、虫取り、摘果、肥料まき、袋かけ、収穫、枝の剪定などの一連の作業を生産者の方から直接指導を受け、体験した。質問をしたり、説明を聞いたりする中で、生産者の方の思いに触れてきた。

「梨栽培」を通して、「地元で生活してきた人々の思い」を学んできた。感謝の会では、生産者の方に御礼の気持ちを伝える会を開き、交流した。また、梨の栽培学習を通して、全校児童や保護者との交流も行った。収穫後は、採れたての梨を全校の児童にも配り、各クラスから、「おいしい梨をありがとう」とお礼の言葉を届けられた。保護者に向けて梨の販売活動も行った。子どもたち自身でお店を運営し、保護者と交流しながら自分たちが収穫した梨を販売した。鞍月フェスティバルでは、梨栽培で学んだことを、全校に向け様々な形で発表を行った。

『ぼくらの鞍月 環境と伝統を学ぶ 4年生』

4年生は、地域全体に目を向け、地域の環境問題に目を向ける学習をした。社会科の学習で、リサイクルプラザを見学した。その後、「めざせエコタウン鞍月」と銘打って、「水」「ゴミ」「電気」のテーマから自分が興味を持ったものを選び、調べ活動を行った。節水、リサイクル、太陽光発電などについて調べ、学習したことを鞍月フェスティバルで異学年や保護者に発表した。

また、「偉人に学ぶ金沢『絆』教育推進事業」の一環として、石川県伝統産業工芸館へ行った。たくさんの「本物」の伝統工芸品に出会い、金沢の伝統工芸について興味を持つことが出来た。その後、「ふるさとモット学び塾」として、石川県伝統産業工芸館の方を招き、詳しく話を聞いた。見学してわかったこと、調べ活動でわかったことなど学習したことを工夫しながら新聞にまとめ、学年で交流した。

『稲の栽培をとおして食を学ぶ 5年生』

5年生は、地域の方からの助言、指導の下、学校近くの田を使用して「合鴨農法」を体験した。年間を通して、田おこし、代掻き、田植え、草取り、稲刈りなど、実際に指導を受けながら学習を進めてきた。いつも食べている「ごはん」ができるまでに、様々な仕事があることや、さまざまな人の手によってもたらされていることを、地域の方とふれ合いながら学んだ。収穫した米で、保護者とともにご飯を炊き、食するというのも取り組んだ。地域の方から、直接話を聞いたり、指導を受けて作業をしたりすることで、「食」の大切さを改めて感じた。

『金沢博士になろう 6年生』

6年生は、自分たちのまち「金沢」について、さまざまな視点で学習を積み重ねた。特に歴史的な建造物や名所、伝統芸能については、自分で調べたいテーマを決め、自主的に取り組んでいった。学習発表会では金沢城、兼六園、尾山神社など、金沢市の有名な場所について、また能や加賀万歳、素囃子など、伝統芸能について、異学年や保護者に発表した。夏休みにはジュニア金沢検定を全員が受験した。さらに、キャリア教育では金沢で働く「職業人」を招いて、それぞれの仕事の大変さや喜び、そして誇りについて学んだ。ふるさと「金沢」を見つめ直すことで地域を大切に作る心の育成を図った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）